

## プロモーション部門

企業名（50音順）	主な取組
コカ・コーラ ボトラーズジャパン 株式会社 （卸売業・小売業） <b>【松本零士特別賞】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コカ・コーラ社独自のスマホ用アプリ「Coke ON」を活用し、7/1～9/30の期間で、対象の自動販売機・時間（朝 5:00～7:59／夕 17:00～19:59）にご利用頂いたお客様に付与スタンプを2倍（通常は1製品購入で1スタンプ）にする取組を実施。（※対象製品は対象自動販売機の全製品）</li> <li>■ 首都圏に広く設置されている「スマホ自販機®」を活用した弊社独自の自動販売機プロモーションと、東京都推進の「時差 Biz」を連動させ、「お得感」を醸成することにより「時差 Biz」の周知・定着・拡大に成功。</li> <li>■ 多くのお客さまがご利用になる都内を中心とした私鉄様と連携し、プロモーションを実施したことで効果の最大化につながった。</li> </ul>
<u>東京地下鉄</u> <u>株式会社</u> （運輸業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 早朝時間帯に4路線で臨時列車の運行（東西線、半蔵門線、日比谷線、副都心線）</li> <li>■ 東西線早起きキャンペーン（通年実施）を実施したほか、豊洲駅混雑緩和キャンペーン「とよすプロジェクト」では、時差 Biz 期間に合わせ8月10日まで期間を拡大。</li> <li>■ 東京メトロアプリにおける、平日の全時間帯、全路線の列車（有料列車及び綾瀬駅～北綾瀬駅間を除く）の混雑度情報の提供。</li> <li>■ 「メトロ de 朝活」の時差 Biz 期間中の開講、「サテライトオフィスサービス」の実証実験を実施するなど、オフピーク通勤を促進する取組を幅広く実施。</li> </ul>
東日本旅客鉄道 株式会社 （運輸業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 時差 Biz 宣伝広告物について、昨年度から掲出箇所・対象物を大幅に増加し、駅構内（ポスター・動画・リーフレット）、列車内（ポスター・動画）で首都圏の多数のお客さまへ周知。</li> <li>■ 「夏の早起き応援キャンペーン」（2018年7月2日（月）～8月10日（金））として、オフピーク通勤者を対象にキャンペーンを実施。</li> <li>■ 混雑の見える化（号車ごとの混雑状況）について、「山手線」は JR 東日本アプリ、「埼京・川越線」「総武線各駅停車」「中央線快速電車」は駅ポスター・異常時情報ディスプレイに掲出。</li> <li>■ 社内では九都県市内に存在するフレックスタイム制度導入職場に対象を拡大するとともに、グループ会社への周知・時差出勤を慫慂し、九都県市内に存在するグループ会社（52社）に周知。</li> </ul>

※下線の企業は、平成 29 年度時差 Biz 推進賞受賞企業。